

りんごでつながるわたしたちのまち

目 標

- ・自分たちが住む地域と南区の果樹地帯との果樹を通じた地域のつながりへの関心を深め、農業に関わる人々の工夫や苦勞について考えたり、歴史的な関わりを実感したりする。
- ・収穫体験を通して自分たちと自然の恵みやそこで働く人々との関わりを考える。

育てたい力

- 地域同士のつながりに課題意識をもって、平岸地域が果樹園地帯であったことや豊平・定山溪の定山溪鉄道により南区の果樹園と交流があったことなどを調べる力。
- 収穫体験を通して、農作物を育てるためには様々な努力と工夫が必要であることに気づき、作物と人との関わりについて自分なりの考えをもって表現する力。

主な学習活動（10 時間）

わたしたちの
まち
(5 月)

果樹
収穫体験
(7 月)

まとめ

(7 月)

- ・「まち探検」を実施し、発見したことを校区地図にまとめた。情報を基に交通の様子や地域の様子の違い、地形や土地の利用の様子、住宅・商店・工場などの位置や分布などを絵地図に表した。(平岸地域がりんご園地帯であったことを知った。)
- ・果樹園でサクランボの収穫体験を行った。サクランボを味わうだけでなく、視覚・味覚・嗅覚・触覚などの諸感覚を使って収穫の喜びと大変さを味わうことができた。自然の中での活動体験が少ない子どもにとっては、見たもの・感じたことの全てが大変貴重な経験となった。
- ・収穫体験終了後に質問コーナーを設け、果樹園の方から、生産者としての 1 年間の仕事内容や収穫までの工夫や苦勞、願いなどについて教えていただいた。子どもは、たくさんの果樹の管理を、通常は 2、3 人でやっていることに一番驚いた。
- ・ブドウの花の観察を行った。花びらのない粒のような花の一つ一つをじっくりと見つめ、それらが実になっていく過程を想像した。
- ・収穫体験とインタビューしたことについて振り返りシートにまとめ、「まち探検」のまとめと合わせてクラス内で交流した。



取組を終えて

子どもの声（感想）

- ・サクランボが甘くなっているところは、葉っぱに隠れていないところだと分かりました。葉っぱに隠れているところは酸っぱかったです。田中果樹園がお爺さんのお父さんの代から 100 年も続いていることに驚きました。
- ・観察したら、サクランボの表面が破けているのがありました。サクランボは雨がたくさん降って水をたくさん吸ったり、強い衝撃があったりすると破れてしまうことがあることを初めて知りました。

取組の成果

農家の方々と直接触れ合い、収穫体験したことで、子どもの学習意欲や関心を高めることができた。自分たちが住む平岸の歴史に関心をもち、自分の生活と地域とのつながりを考えたり、作物と人の関わりや食生活への関心を高めたりすることができた。



体験先、関係機関

田中果樹園（札幌市）